

洪水に備えて

洪水ハザードマップとは

この「洪水ハザードマップ」は、県の調査結果にもとづいて、宮川・一之瀬川が大雨によって増水した場合などに浸水する範囲と浸水深や避難所、過去に浸水したことがある場所などを示した地図です。このマップを利用して、日ごろから洪水に対する備えをしていただくとともに、洪水はん濫の危険がある場合にどのような行動をとるべきかについて考え、洪水時の安全な避難行動に役立ててください。内容については、この防災マップに示すとともに、町のHPより確認することもできます。

◎ 避難対象地区と避難所

浸水が予測されている箇所周辺の周辺にお住まいの方は、日ごろから、いざという時どこへ逃げたらよいか確認しましょう。また、浸水が予測されていない場所でも、決して安心せず、周囲の状況を見て、近隣の避難所へ避難してください。

◎ 浸水想定について

① 宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

② 浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね**1000年に1回**程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③ なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	ヘリポート
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線
	防災無線（通信可）
	県道
	主要な道路
	家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
	河川の増水で浸水した範囲
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m

三重県 令和元年度調査

気象・水位情報から大雨や洪水に備えましょう

◎ 気象情報

テレビ・ラジオなどで発表される気象情報を確認するとともに、実際の雨の降り方にも注意しましょう。また、注意報・警報が発表された時には、内水による浸水にも十分注意しましょう。

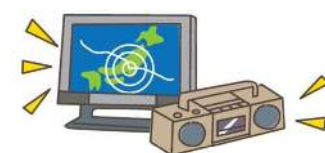
情報	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。	警戒レベル 5
土砂災害警戒情報・高潮特別警報・高潮警報	地元の自治体が避難指示を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくても危険度分布等を参考に自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル 4
大雨警報・洪水警報・高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの）	地元の自治体が高齢者等避難を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、危険度分布などを参考に高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル 3
早期注意情報（警報級の可能性）注：大雨に関して、翌日までの期間に[高]又は[中]が予想されている場合	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。ハザードマップなどにより、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル 2
大雨注意報・洪水注意報・高潮注意報（警報に切り替える可能性に言及されていないもの）	災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1です。最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。	警戒レベル 1

特別警報	大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、高潮
警報	大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜
早期注意情報（警報級の可能性）	大雨、暴風（暴風雪）、大雪

「特別警報」が出た場合、数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。身の回りの状況や町が発表する避難情報に留意し、**ただちに命を守る行動を取ってください。**

◎ 洪水時のこころえ

- ▶ 避難の呼びかけに注意を
- ▶ 浸水してからの避難は危険
- ▶ 万が一、逃げ遅れたら



危険が迫った時には、テレビ、ラジオの気象情報、町からの避難情報に注意しましょう。広報車や屋外の防災行政無線からの案内は、雨風の音で聞こえにくい場合がありますので注意しましょう。



浸水が始まらないうちに避難しましょう。動きやすい格好で、また、2人以上で行動をしましょう。浸水した道路では、マンホール内に落ちたり用水に流されたりすることがあり、危険がいっぱいです。



避難可能な水位はひざ下までです。流れる水の中は、水位が浅くても足がとられやすく危険です。万が一、避難が遅れた時には崩落の危険のない高台に逃げましょう。

- ▶ 早めの避難を



夜間、雨の中を歩ける速度は1時間で1.5~2.0kmが目安です。このため、お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方などのいるご家庭では、特に早めの避難が必要です。隣近所の方は避難に協力しましょう。

- ▶ 土砂災害にも注意



山の近くなど、土砂災害危険箇所の周辺にお住まいの方は、土砂災害にも注意しましょう。避難のとき、山沿いの道路を歩かなければならないときは特に注意しましょう。

- ▶ 車での避難は控えて



車での避難は交通渋滞を招いたり、道路冠水等で動けなくなるなどして緊急車両の通行の妨げとなります。原則として、徒歩で避難しましょう。

いち早く避難をするために

雨の降り方

雨の降り方を確認しましょう。雨は突然強く降ったりと絶えず変化します。静かな雨でも油断せず周囲の状況に注意を払いましょう。

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
ザーザーと降る雨 地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨です。長雨になりそうなら注意が必要です。 10~20mm/h	どしゃ降り 傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川なら氾濫、また、崖崩れの心配もあります。 20~30mm/h	バケツをひっくり返したような激しい雨 山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路が川のようになり、規制も行われます。 30~50mm/h	滝のような猛烈な雨 マンホールから水が噴出することもあります。土石流などが起こりやすく、多くの災害が発生する恐れがあり警戒が必要です。 50~80mm/h	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じるような雨 雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。 80~mm/h

風の吹き方

平均風速 (m/s)	風の強さ	人への影響	屋外の様子	瞬間風速 (m/s)
10~15 (約50km/h)	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	20
15~20 (約70km/h)	強い風	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もでる。高所での作業は危険。	電線が鳴りはじめる。看板やトタン板が外れはじめる。	30
20~25 (約90km/h)	非常に強い風	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根のはっていない木が倒れはじめる。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	40
25~30 (約110km/h)				50
30~35 (約125km/h)	猛烈な風	屋外での行動はきわめて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	50
35~40 (約140km/h)				60
40~ (約140km/h)				

()内は おおよその時速

記録的短時間大雨情報

この情報が発表されたときは、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生のおそれが高まっているかは、気象庁HPの「防災情報」から「危険度分布」で確認してください。

家屋倒壊危険ゾーン

いち早く避難所への立退き避難を

「想定し得る最大規模の降雨」により、近隣の堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出するなどの危険性が高い区域を示すものです。この区域では、屋内での待避ではなく、避難所などへの立退き避難を判断してください。

浸水時などに危険な場所 用水路や家の周りの水路に注意

河川敷・用水路・ため池の周辺	運転をしている時
<ul style="list-style-type: none"> 急な増水。 堤防の決壊。 農業用ため池の越水・決壊。 自分のいる場所で雨が降ってなくても、河川の上流での大雨により被害を受ける可能性がある。 <p>対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 川から離れる。 高いところに避難する。 <p>ため池の場所や浸水想定区域は、この防災マップに示すとともに、町のHPより確認することもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨で前方が目視できない。 <p>対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 視界が悪い場合は急停車せず、ゆっくり減速する。 路面が冠水してエンジンが停止する。 ※60~70cmの浸水で車は浮いてしまいます。 ※マフラーが水没するとエンジンが停止してしまいます。 エンジンがとまって、エンジン保護、感電防止のため再始動しない。 水圧でドアが開かなくなる。 <p>対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 慌てずに窓を割って脱出する。 ハンマーなどの道具を車内に常備する。

家の周りを確認



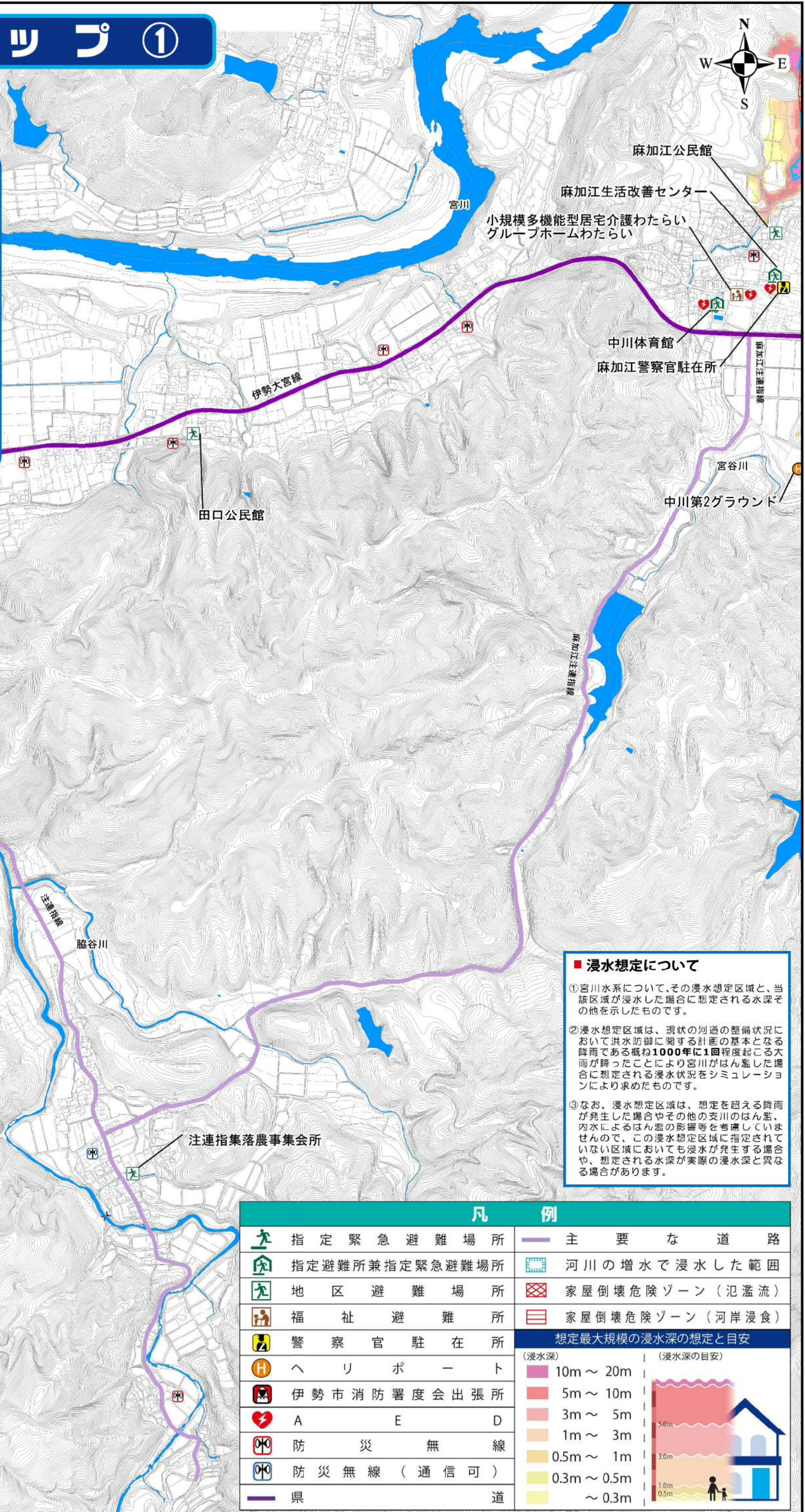
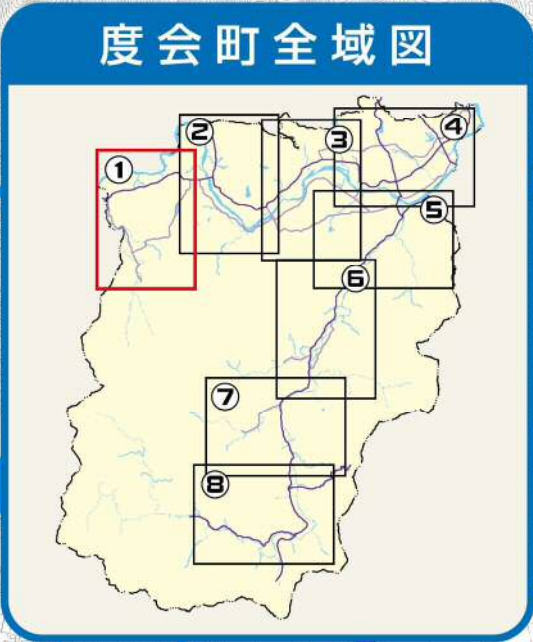
本町の日の出、日の入

本町の一年の日の出、日の入の目安は右のとおりです。雨の日でなくても、日が沈むと避難が大変になります。右ページのタイムラインのように防災情報を収集して避難行動をすることが重要ですが、日没前1時間を避難開始を決める目安とすることも考えられます。

度会町	日出	日入
春分の頃 (3月20日頃)	6時頃	18時05分頃
夏至の頃 (6月20日頃)	4時40分頃	19時10分頃
秋分の頃 (9月22日頃)	5時40分頃	17時50分頃
冬至の頃 (12月22日頃)	7時頃	16時50分頃

防災マップ ①

洪水



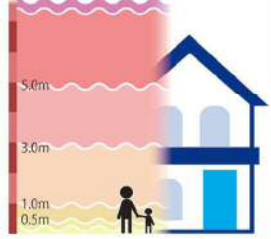
■ 浸水想定について

①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	へりポ一ト
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線線
	防災無線（通信可）
	県道
	主要な道路
	河川の増水で浸水した範囲
	家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m



防災マップ ②

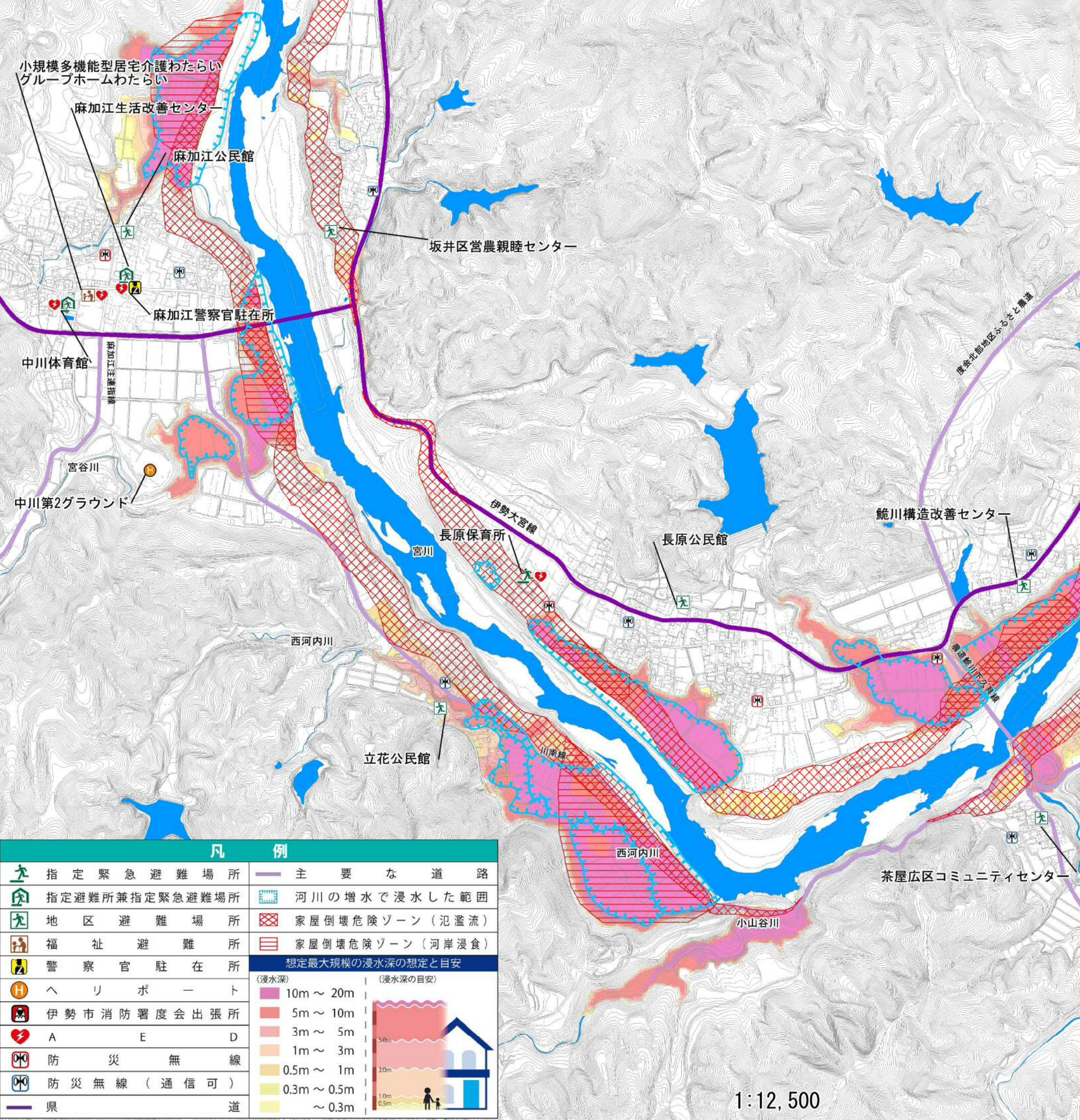
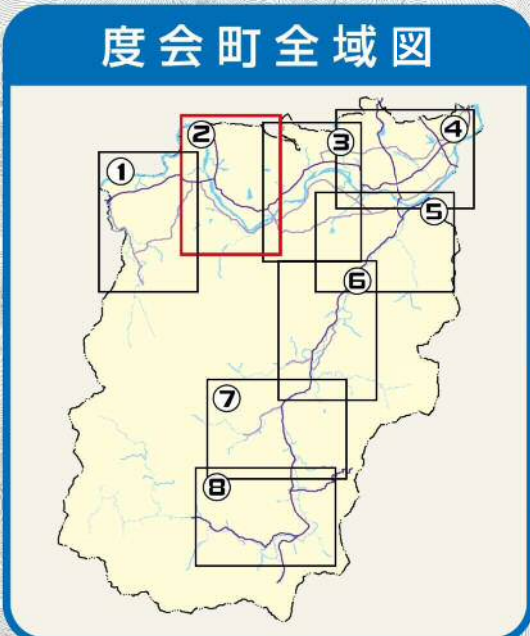
洪水

■ 浸水想定について

①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

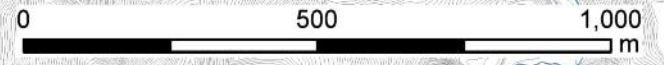
②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	へりポート
	伊勢市消防署度会出張所
	A
	E
	D
	防災無線
	防災無線 (通信可)
	県道
	主要な道路
	河川の増水で浸水した範囲
	家屋倒壊危険ゾーン (氾濫流)
	家屋倒壊危険ゾーン (河岸浸食)
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m

1:12,500

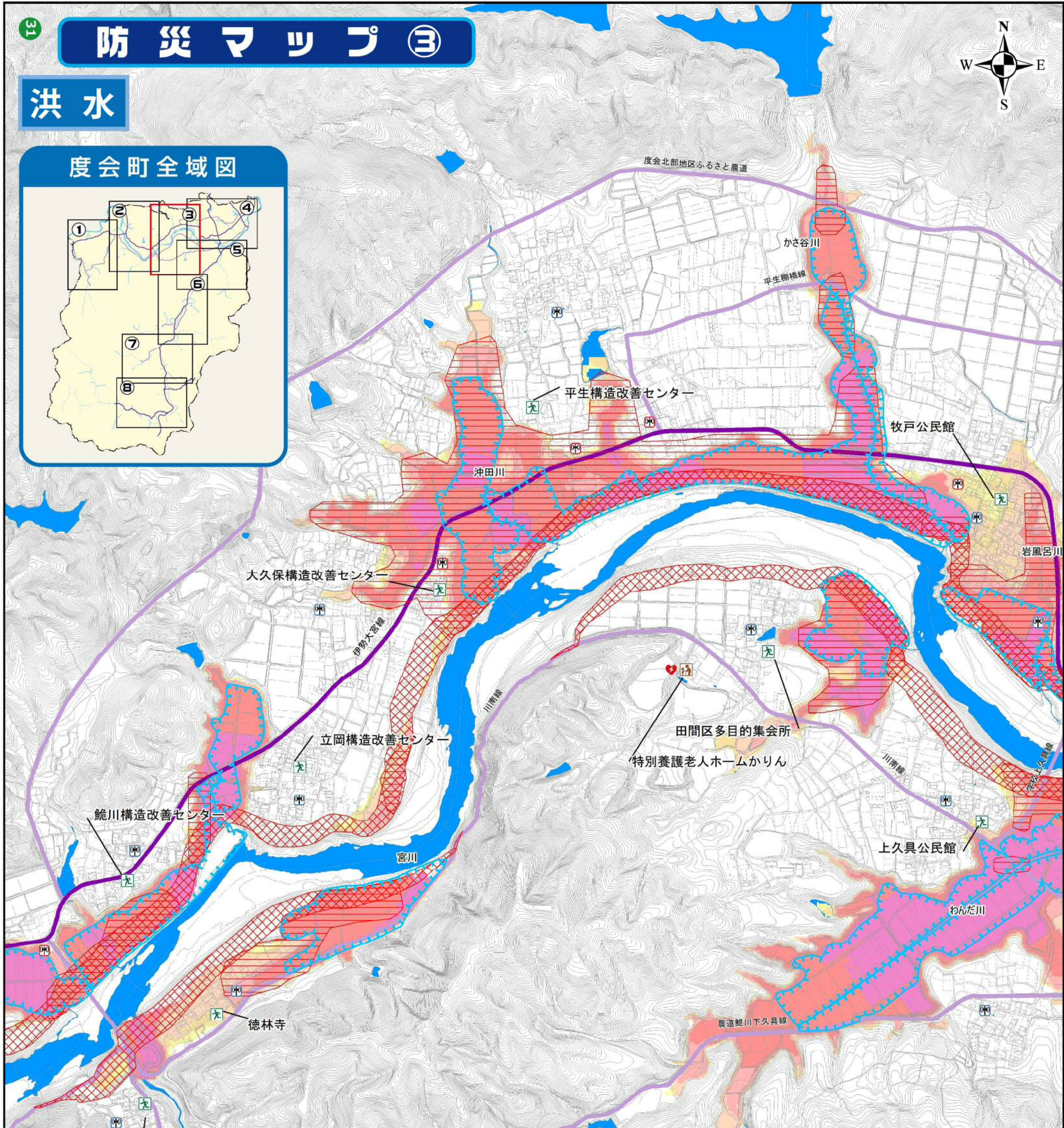
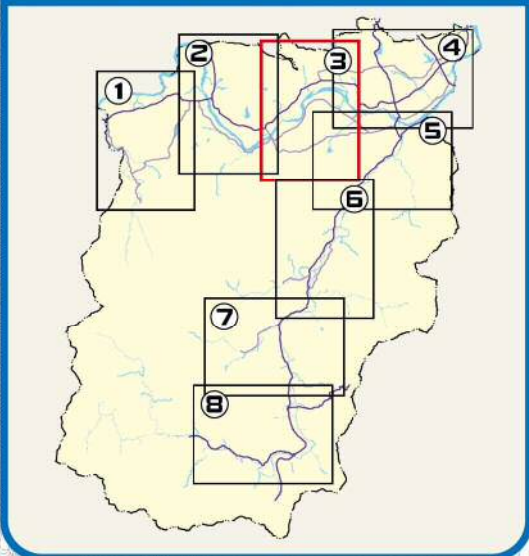


この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図(数値地形図 2500(道路線 1000))」を使用し、調製したものである。(承認番号:三総合地第73号)本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

洪水



度会町全域図



■ 浸水想定について

①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

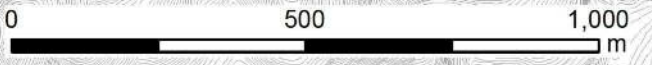
②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	へりポータル
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線
	防災無線（通信可）
	県道
	河川の増水で浸水した範囲
	家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
想定最大規模の浸水深の想定と目安 (浸水深) (浸水深の目安)	
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m

1:12,500

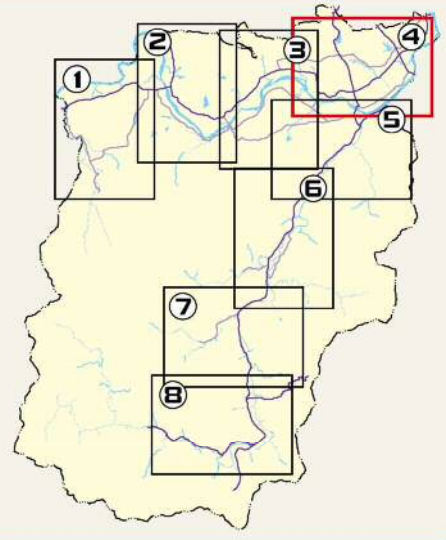
この地図は三重県庁総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図 2500（道路線 1000）」を使用し、調整したものである。（承認番号：三総合地第73号）本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。



防災マップ④

洪水

度会町全域図



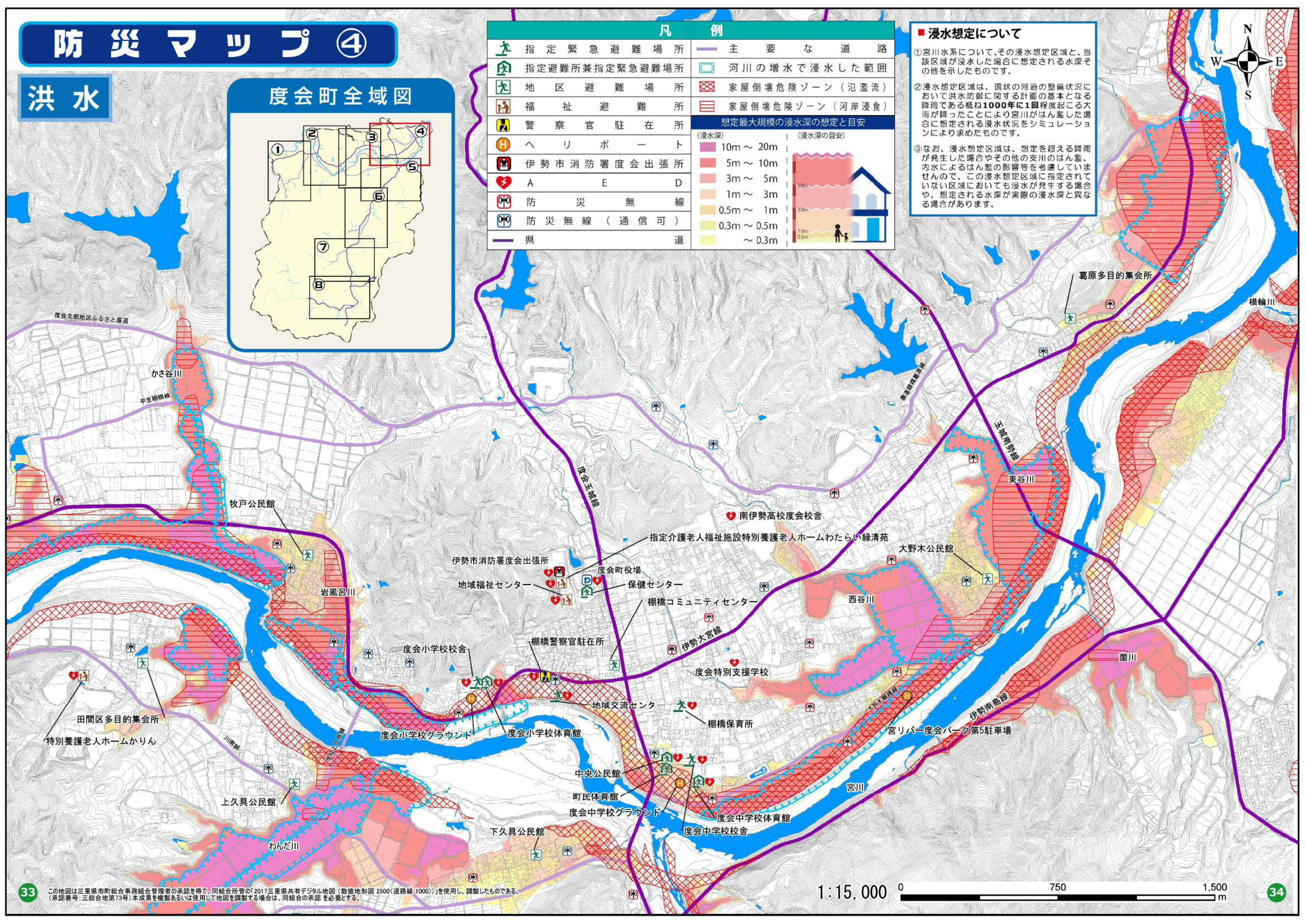
凡 例			
	指定緊急避難場所		主要な道路
	指定避難所兼指定緊急避難場所		河川の増水で浸水した範囲
	地区避難場所		家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	福祉避難所		家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
	警察官駐在所	想定最大規模の浸水深の想定と目安	
	へりポート	(浸水深)	(浸水深の目安)
	伊勢市消防署度会出張所		10m ~ 20m
	A E D		5m ~ 10m
	防災無線		3m ~ 5m
	防災無線（通信可）		1m ~ 3m
	県道		0.5m ~ 1m
			0.3m ~ 0.5m
			~ 0.3m

■ 浸水想定について

①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね**1000年に1回**程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

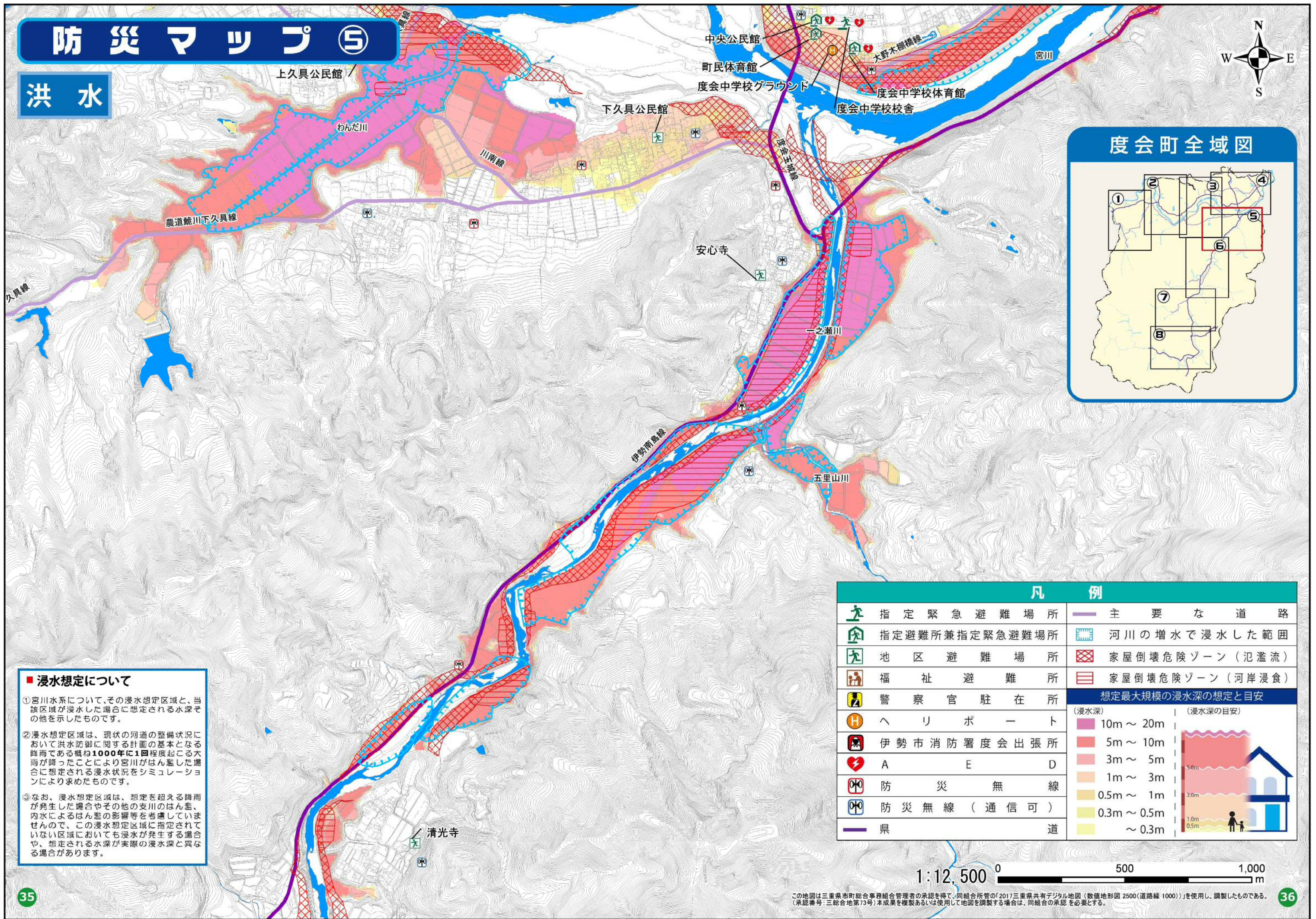
③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



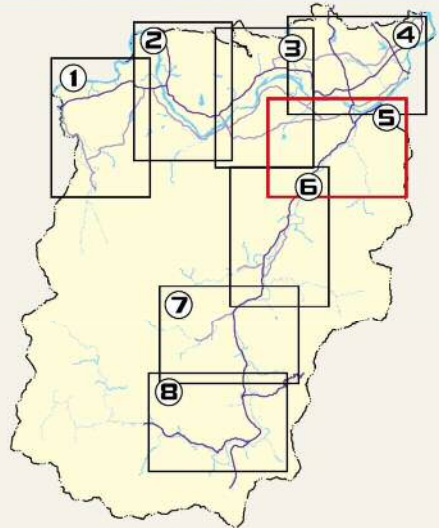
33 この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図 2500（道路線 1000）」を使用し、調整したものである。（承認番号：三総合地第73号）本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

防災マップ ⑤

洪水



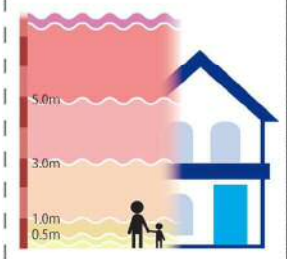
度会町全域図



■ 浸水想定について

- ① 宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- ② 浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。
- ③ なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

凡 例			
	指定緊急避難場所		主要な道路
	指定避難所兼指定緊急避難場所		河川の増水で浸水した範囲
	地区避難場所		家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	福祉避難所		家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
	警察官駐在所	想定最大規模の浸水深の想定と目安	
	へりポ一ト	(浸水深)	(浸水深の目安)
	伊勢市消防署度会出張所		10m ~ 20m
	A E D		5m ~ 10m
	防災無線線		3m ~ 5m
	防災無線（通信可）		1m ~ 3m
	県道		0.5m ~ 1m
			0.3m ~ 0.5m
			~ 0.3m



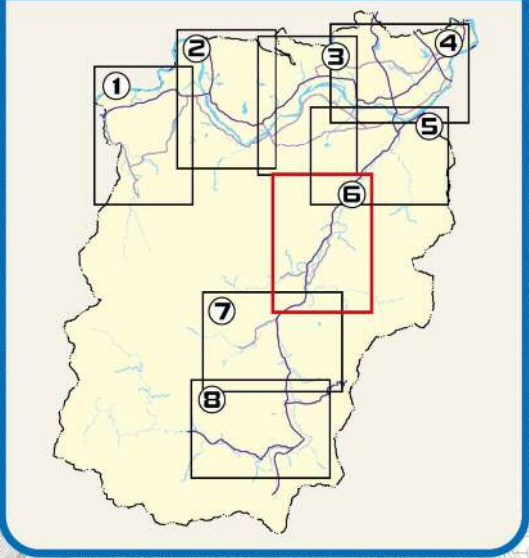
1:12,500 0 500 1,000 m

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図 2500（道路線 1000）」を使用し、調整したものである。（承認番号：三総合地第73号）本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

防災マップ ⑥

洪水

度会町全域図

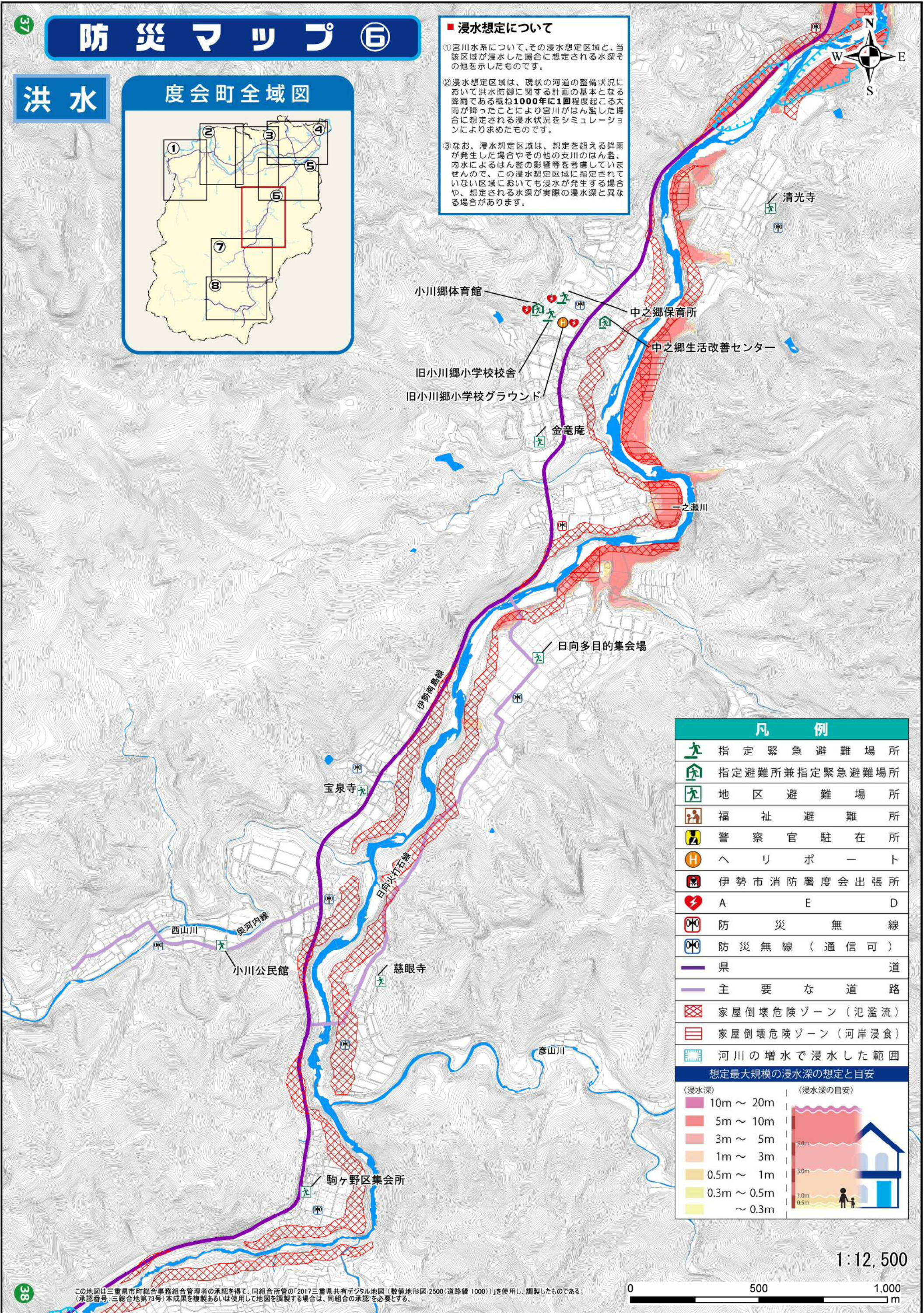


■ 浸水想定について

①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

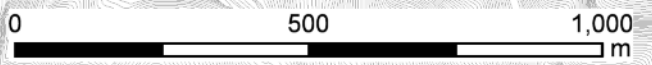
②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	へりポ一ト
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線
	防災無線（通信可）
	県道
	主要な道路
	家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
	河川の増水で浸水した範囲
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m

1:12,500

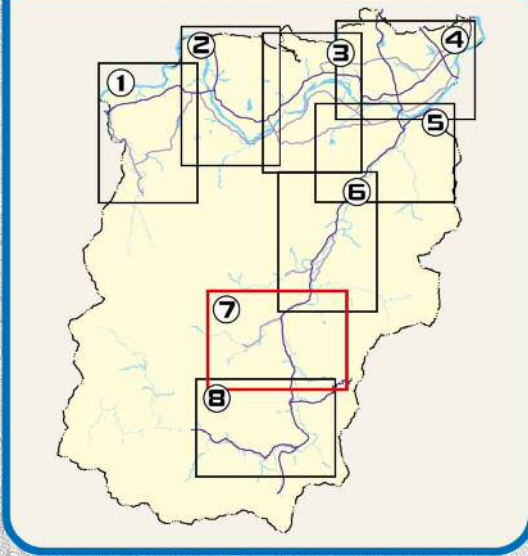


この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図 2500（道路線 1000）」を使用し、調製したものである。
（承認番号：三総合地第73号）本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

防災マップ ⑦

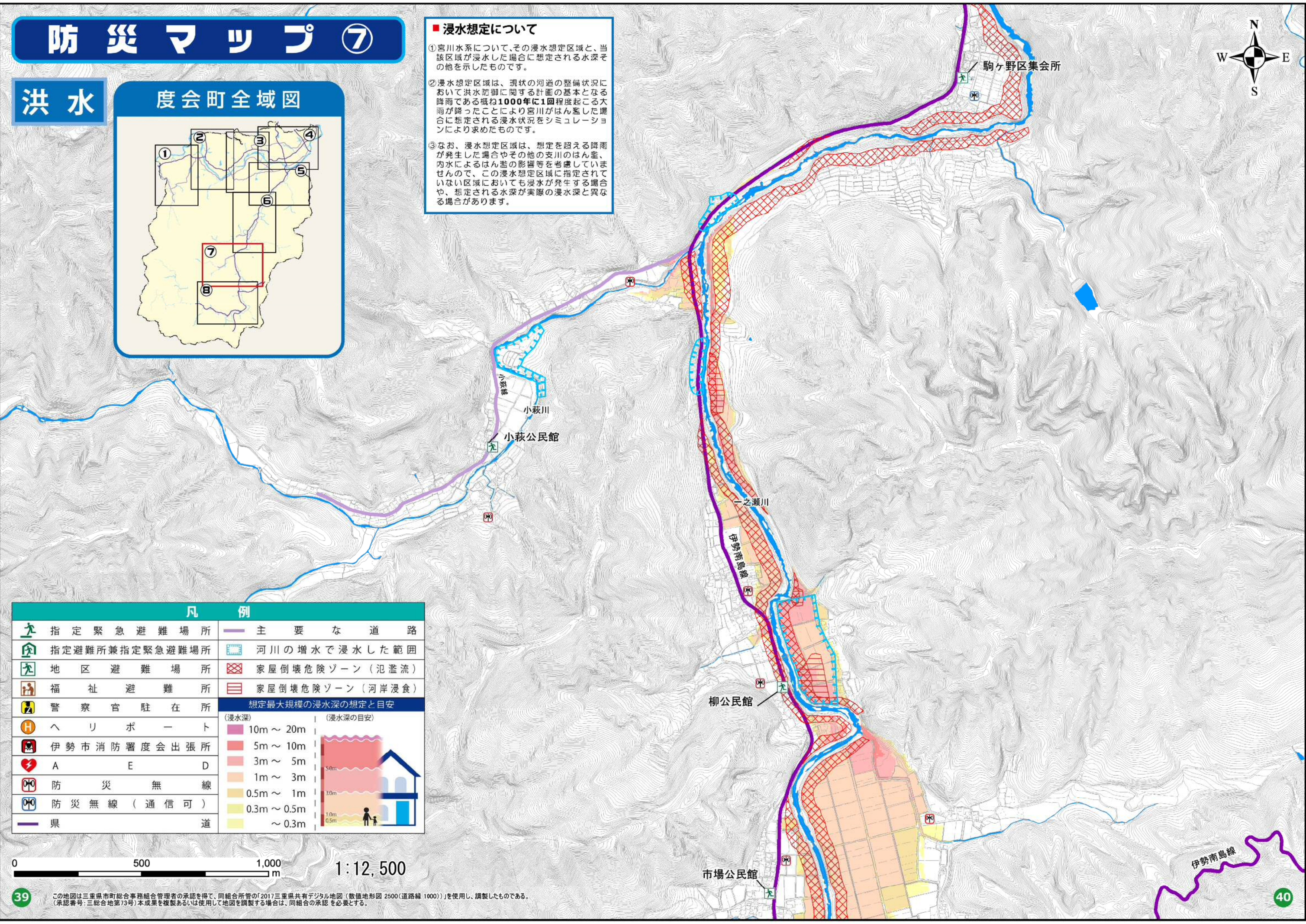
洪水

度会町全域図



■ 浸水想定について

- ①宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- ②浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね**1000年に1回**程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。
- ③なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	ヘリポート
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線
	防災無線（通信可）
	県道
	主要な道路
	河川の増水で浸水した範囲
	家屋倒壊危険ゾーン（氾濫流）
	家屋倒壊危険ゾーン（河岸浸食）
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m～20m
	5m～10m
	3m～5m
	1m～3m
	0.5m～1m
	0.3m～0.5m
	～0.3m

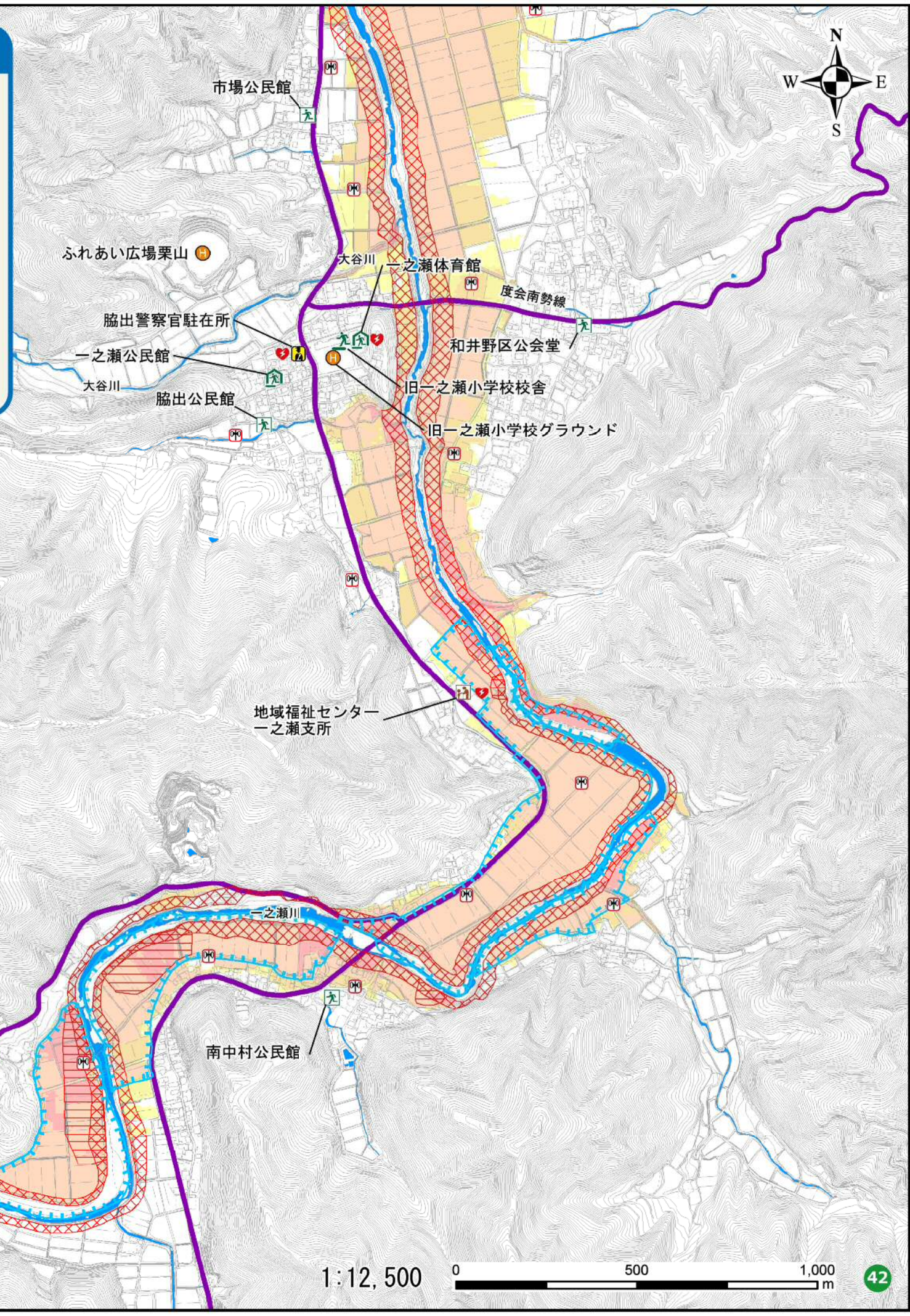
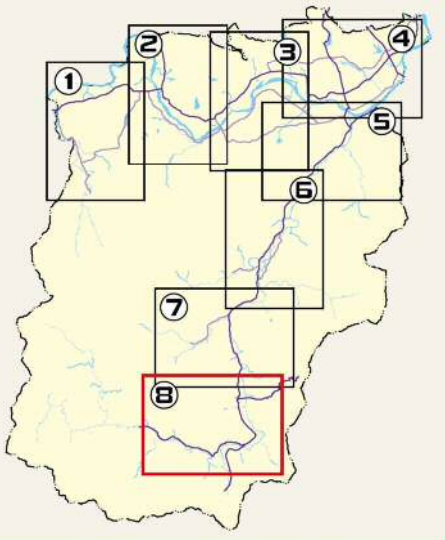
0 500 1,000 m 1:12,500

防災マップ ⑧

洪水

凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所兼指定緊急避難場所
	地区避難場所
	福祉避難所
	警察官駐在所
	ヘリポート
	伊勢市消防署度会出張所
	A E D
	防災無線
	防災無線(通信可)
	県道
	主要な道路
	河川の増水で浸水した範囲
	家屋倒壊危険ゾーン(氾濫流)
	家屋倒壊危険ゾーン(河岸浸食)
想定最大規模の浸水深の想定と目安	
(浸水深)	(浸水深の目安)
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m

度会町全域図



■ 浸水想定について

① 宮川水系について、その浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

② 浸水想定区域は、現状の河道の整備状況において洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね1000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより宮川がはん濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

③ なお、浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合やその他の支川のはん濫、内水によるはん濫の影響等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。